

報道関係者各位

《News Release》

2019年2月20日

OYO TECHNOLOGY&HOSPITALITY JAPAN 株式会社

ヤフー株式会社

インド発のユニコーン企業OYO(オヨ)、ヤフーと合併会社を設立し日本の賃貸住宅事業に本格参入 “日本初”のアパートメントサービス「OYO LIFE」を発表

～家賃保証しながら、不動産オーナーの資産を完全に管理。

不動産オーナーによる物件登録を募集中～

<http://oyolife.co.jp/owner>

急速な勢いで取り扱い物件数を増やすインドのホテル運営会社OYO（オヨ）（創業者CEO：リテシュ・アガルワル、本社：インド）は、ヤフー株式会社（以下、ヤフー）と合併会社を設立し、日本の賃貸住宅事業に本格参入します。2019年3月上旬より、スマートフォンひとつで物件探しから入居、退去までができ、数日間の試し住みができる日本初のアパートメント（賃貸）サービス「OYO LIFE（オヨ ライフ）」を開始します。



ブランドロゴ



ホテルのように部屋を選ぶだけ。

ブランドキービジュアル

■『旅するように暮らす』をコンセプトに新たな暮らし方を提案する「OYO LIFE」とは

OYOは、ITを活用した不動産経営で世界8ヶ国でのブランド展開を行うグローバル企業です。今回、ヤフーとの資本提携により、合併会社であるOYO TECHNOLOGY&HOSPITALITY JAPAN株式会社を設立します。3月上旬よりサービス開始する「OYO LIFE」は、すべての部屋が家具家電付きに加えて、敷金・礼金・仲介手数料0円で提供します。

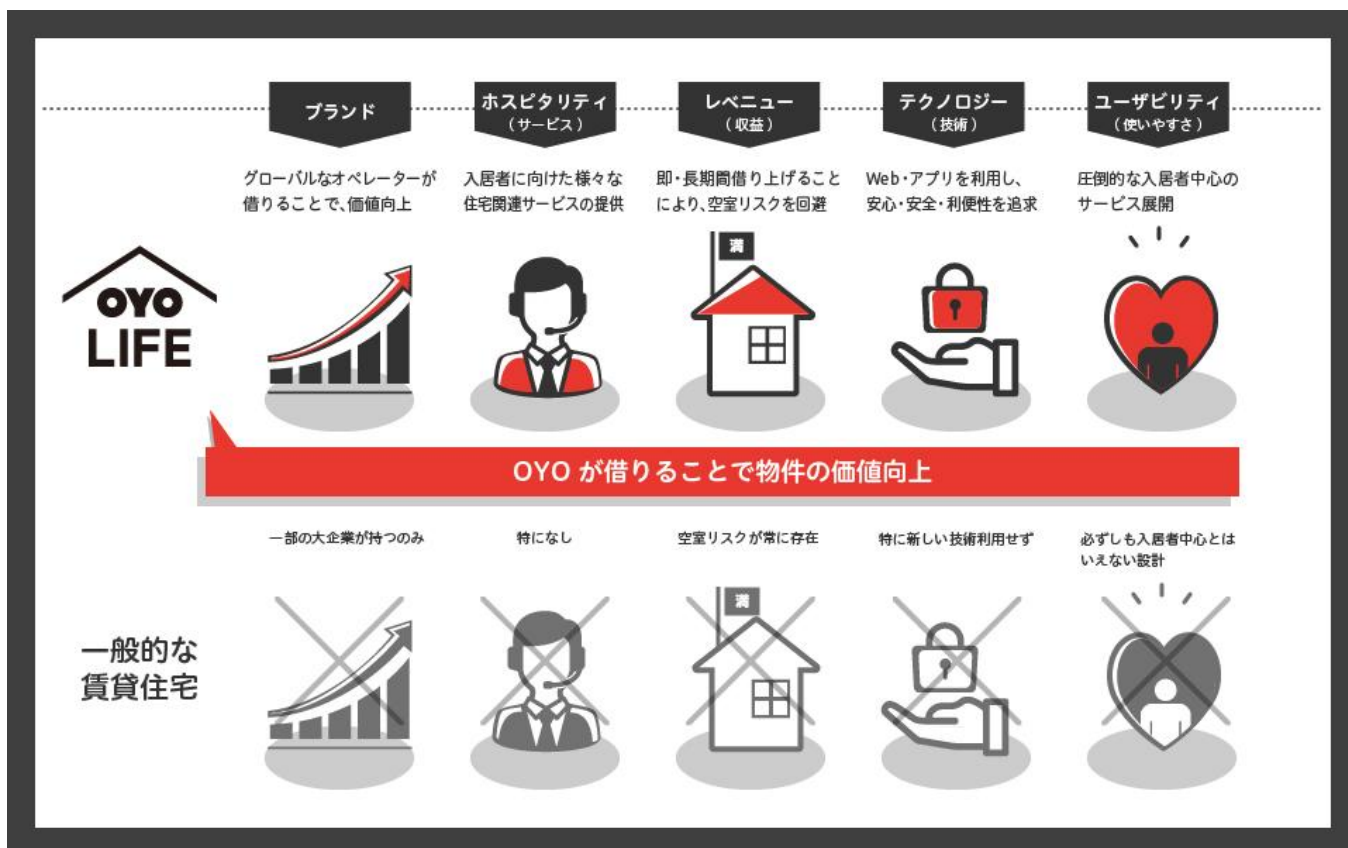
「OYO LIFE」は、テクノロジーを活用し、スマートフォンひとつで物件探し、契約や支払いのインフラ整備から退去まで一気通貫のサービス提供を実現することで、インターネットで宿泊予約をするように部屋を借りることができるサービスです。「OYO LIFE」は世界最速で成長しているOYOの運営ノウハウを元に、日本の賃貸物件に手軽さと利便性をもたらす、暮らし方に新たな価値を提案します。

現在日本では、音楽や動画、アパレル、家具等におけるサブスクリプション型サービスへの移行に象徴されるように、商品・サービスの「所有」から「利用」へと個人の意識が変化しています。コンテンツだけではなく形あるモノについても「シェアリング」という考え方が受け入れられるようになってきており、カーシェアリングや、シェアオフィスなどシェアリングエコノミーと呼ばれる新たな経済活動が拡大しています。

「OYO LIFE」は、仕事もコミュニティも移り変わってシェアすることが当たり前の時代だからこそ、自分のライフスタイルに合った暮らし方を自由に選択できる新たな価値を提案します。すべての部屋が、家具家電付きで、公共料金・Wi-Fiなどの通信費や定期的なハウスキューピングなど基本的なアメニティが含まれているだけでなく、検索しづらい物件情報、複雑な手続き、2年契約の縛りや敷金礼金など、今までの賃貸物件を借りる際に発生する課題を排除し、まるで旅するように自分のライフスタイルに合ったエリアでの暮らしを手軽に楽しめるようになります。

■不動産オーナーにブランドとサービスインフラを提供！

「OYO LIFE」は、家賃保証しながら、定期的なメンテナンスと資産の専門的な維持管理を行い、不動産オーナーの資産を完全に管理する日本初のサービスです。「OYO LIFE」では、不動産オーナーにOYOがもつブランドとサービスインフラを提供して物件価値を向上させ、ヤフーのマーケティング力、集客力を合わせてビジネスのブランド化をすすめていきます。



賃貸不動産市場は、IT化することにより、今後大きく生産性を上げることができる有望市場と考えています。2013年当時19歳だった創業者CEOのリテシュ・アガルワルがホテルのビジネスにデジタル革命を起こし、現在では13,000以上の物件を運営し、8カ国で500以上の都市に展開するなど、OYOは世界中で急速に成長しました。また、取扱部屋数は約450,000部屋で、毎月全世界で64,000を超える部屋を獲得しています。世界最速で拡大する物件運営で培ったOYOのノウハウを生かし、日本での事業成功を目指します。

昨年11月に50件の物件を獲得し、2019年3月末までには、東京都内のプレミアムエリア（渋谷区、目黒区、新宿区、中央区、文京区、千代田区）を中心に1,000件を超える物件を獲得する予定です。物件オーナーからのお問い合わせも順次受け付けています。詳細は問い合わせフォーム（ <http://oyolife.co.jp/owner> ）よりご連絡ください。

■ OYOの創業者でCEOのリテシュ・アガルワル（Ritesh Agarwal）は次のように述べています。

インドで創業し、現在中国など世界8ヶ国での事業を展開するOYOが、この度ヤフーと合併会社を設立し、日本で「OYO LIFE」をスタートできたことを大変嬉しく思っています。OYOは世界最速で成長しているホテルブランドです。その成長は優れた物件獲得、物件管理システム、客室運営、価格管理、オンライン、オフラインでの顧客獲得のシステムのオペレーションを参画ホテルに提供することによって実現しました。今回の合併事業ではホテル事業で培ったノウハウを駆使し日本の顧客に対して価値の高いサービスの賃貸住宅体験を提供できると考えています。今回のヤフーとの提携により、新しく住宅分野に進出することを大変嬉しく思っています。

■ ヤフーの代表取締役社長 CEOの川邊健太郎は次のように述べています。

ヤフーは、インターネット技術（IT）を通じてオンライン上の生活をさらに便利にすることに加えて、今後は、オフラインにも進出して、ユーザーの生活を「！」するほど便利にしていきます。「賃貸」は、ITやAIの力で、もっと便利にできると信じています。この領域で世界最速で取り扱い物件数を増やしているOYOのビジネスモデルやマネジメントチームの素晴らしさに共感し、この度合併会社を設立し、日本で「OYO LIFE」の提供を開始します。この「OYO LIFE」が不動産オーナーやユーザーの賃貸領域での課題を解決することを期待しています。

■「OYO LIFE」運営会社について

社名：OYO TECHNOLOGY&HOSPITALITY JAPAN 株式会社

本社：東京都千代田区大手町一丁目1番2号大手門タワー

CEO：勝瀬博則